



テーマ インタビュー： 浅草と地方各地「まるごとにつぼん」町おこし (要旨)

水代 優氏 good mornings 株式会社 社長

取材：麻植 茂 構成：戸田佑也

地方各地“地域の宝”浅草へ「まるごとにつぼん」



さる 12 月 17 日に開業した浅草新名所「まるごとにつぼん」。開発に携わった水代優氏を訪ねた。

—「まるごとにつぼん」の開発に携わるようになった経緯は？

「まるごとにつぼん」のデベロッパーである(株)東京楽天地に「思い」があったこと。開発に取り組むメンバーが地域に恩返しをしていきたいという考えを持っていたので、私も手伝いたいと感じ、今回の開発に携わった。

—「まるごとにつぼん」各フロアのコセプトは？

1階「につぼん食市場 楽市」は、全国各地にある名店の2店舗目というショップが多く出店している。デベロッパー側が全国の地方を見て歩き、「地域の宝」を探してきた。

「自分の店だけでなく、自分の地域を売りたい」というショップに出店してもらっている。総合的に地域の特産品を集めた「まるごとにつぼん 蔵」はデベロッパー自身が経営しているので、小売やスーパーマーケットにはなかなかできない少量多品種の販売ができる。

2階「くらしの道具街 和楽」では、「くらし」というテーマで地域のおもしろいモノ、通販では買えないモノをデベロッパーが直接目利きに取り組んでいる。

3階「浅草につぼん区」は、コミュニティづくりと情報発信の場としている。ここが最も集客力を求められるフロアである。また3階では全国各地の市町村の展示スペースがある。元々つながりがあった自治体ばかりではない。自分たち自身でまちをPRし、地場産品を販売したいという、熱意のある地域だけを選んで出展してもらっている。

4階「ふるさと食堂街 縁道」はいわゆる飲食店街だが、これも他の施設にあるようなありきたりのものではなく、地方のよいものを選んでつくっている。



—「まるごとにつぼん」は「地方」とどのような関係を築いていますか？

ドバイをはじめとした中東で日本ブームが起きている。その結果、日本の店の評判も上がる。「まるごとにつぼん」に出店することで、「浅草で外国人に受けている」と言われるようになると、地元での評判も上がり、その地域の誇りも取り戻す。

フランスの観光業を参考に、モノを買うことからコト・ライフスタイルを買うことへ。東京の人が地方に対して、そのライフスタイルに興味を持ってもらい、憧れてもらうことがこれから大切。

「地方創生」は、東京の人びとのために取り組む。東京の人には東京から離れた関係地や心のふるさとが必要。一つのふるさと、出身地の故郷だけに託すのは荷が重い。第2のふるさと、だからこそできることがある。

—グッドモーニングスは「まるごとにつぼん」内に直営のカフェ

自分たちが訪れておもしろかった地域を東京の人たちにつなげる場として考えている。気軽に「つぎに行く場所」として地域を見てもらうきっかけの場になればと思う。

—外国人観光客への対応はどのように考えていますか？

インバウンドに注目が集まっているが、その消費を取り込もうとしている人がみな、爆買いかその他か程度の絞り方では、イメージがぼやけてしまう。



足元の商圈 2, 3km の人たちにどう愛されるかがとても大切だと認識。外国人をおもてなしするためには、地元の人に徹底的に愛されることが必要。

—地域を活性化したいというとき、どのような取組が必要になるか。大切なことはどのよ

うなことでしょうか？

地域で奇跡を起こす条件は、一人の「変態」がいること。そして、その一人の変態を支える3人がいればいい。ヨソモノ×ワカモノ×バカモノ×地域の掛け算が大切。

アイデアは誰でも持っている。形になるアイデアは1000個のうちの1個。

「本当にお金と時間を払う価値のあるものか」で10分の1に、行政手続き等のハードルを越えるまでにまた10分の1に、経営的に回せるのはそのまた10分の1になる。

地域おこしを進める上で、要求される対応は、

1) 行政手続き 2) 地元に愛されるか・地元を活かせ 3) 広報・プロモーションのチューニング 4) ファンドレイジング

これらをそれぞれしっかりできるかどうか。

集客で言えば、まずは女の子を惹きつけることが重要。

農林水産業で言えば、3次産業化、情報化。本当においしい体験をしたければ、地方の現地に行って、現場を見て・知って・感じる必要がある。地方にはこうした可能性がある。

自分たちで行動するつもりがあるかどうか、それが最も大切である。 T

詳しくは本文 <http://goo.gl/vaB5zN> をごらんください。

取材協力：水代 優氏 good mornings 株式会社 社長

取材：未来を創る財団 麻植 茂 構成：株式会社あらまほし 戸田 佑也 <http://aramahoshi.jp>

人物プロフィール：

水代 優氏

インテリアショップ「IDEE」にて、カフェの立ち上げやイベント企画等に携わる。

2012年、good mornings 株式会社を設立、代表取締役に就任。

主な事業は、クリエイティブな空間作りを通じて、まちの価値を高めること。食とデザインにこだわった「場作り」を通じて、地域コミュニティの拠点を生むこと。全国各地の企業や自治体のコンサルティング、また地方の名品を世界に発信するウェブマガジン等メディア制作も積極的に行っている。



当財団では、第一線で活動される気鋭の執筆者に依頼し、時代を拓く提案、提言をニュースレターとして発信しています。ご意見をおよせください。

一般財団法人 未来を創る財団：abrighterfuture@theoutlook-foundation.org

<http://www.theoutlook-foundation.org>